

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2013-46733(P2013-46733A)

【公開日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2012-101556(P2012-101556)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射装置により遊技盤上の遊技領域に向けて発射された遊技球を回収し、回収した遊技球を前記発射装置により再度発射することで、内部に封入された所定数の遊技球を循環的に使用して遊技を行う封入式の弾球遊技機であって、

前記発射装置により発射された遊技球を回収する回収手段と、

前記回収手段により回収された遊技球を、再度発射させるために前記発射装置に誘導する誘導手段と、

前記誘導手段により誘導される遊技球の汚れを除去する除去手段と、

遊技中か否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により遊技中と判定された場合には、前記除去手段に対し遊技球の汚れの除去を行わせず、前記判定手段により遊技中でないと判定された場合に、前記発射装置に対し遊技の発射を行わせると共に、前記除去手段に対し、前記誘導手段により誘導される遊技球の汚れの除去を行わせる除去制御手段と、を備え、

前記誘導手段は、前記回収手段により回収された遊技球を、再度発射させるために前記発射装置に誘導する第一誘導経路及び第二誘導経路として構成されており、

前記除去手段は、前記第一誘導経路を誘導される遊技球の汚れを除去し、

前記除去制御手段は、前記判定手段により遊技中と判定された場合には、前記第二誘導経路により遊技球を前記発射装置に誘導することで、前記除去手段に対し前記遊技球の汚れの除去を行わせず、前記判定手段により遊技中でないと判定された場合に、前記第一誘導経路により遊技球を前記発射装置に誘導し、前記除去手段に対し前記遊技球の汚れの除去を行わせること、

を特徴とする弾球遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の弾球遊技機において、

前記遊技球の汚れの除去を行うために発射された遊技球により、遊技が行われることを防ぐ防止手段を備え、

前記回収手段は、前記発射装置により発射された後に遊技領域に到達し、遊技領域に設けられた入賞口或いはアウト口に入球した遊技球を回収すると共に、前記発射装置により

発射された後に遊技領域に到達しなかった遊技球をファール球として回収し、

前記防止手段は、前記遊技球の汚れの除去を行う際、前記発射装置に対し、前記ファール球となるように遊技球を発射させること、

を特徴とする弾球遊技機。

【請求項3】

請求項1に記載の弾球遊技機において、

前記遊技球の汚れの除去を行うために発射された遊技球により、遊技が行われることを防ぐ防止手段を備え、

前記防止手段は、前記遊技球の汚れの除去が行われている間、遊技領域に設けられた入賞口或いはゲートへの遊技球の進入を無効とすること、

を特徴とする弾球遊技機。

【請求項4】

請求項1から請求項3のうちのいずれか1項に記載の弾球遊技機において、

遊技球の汚れの除去を開始する除去開始操作を受け付ける受付手段をさらに備え、

前記除去制御手段は、前記判定手段により遊技中でないと判定された場合に、前記受付手段を介して前記除去開始操作を受け付けると、前記除去手段に対し前記遊技球の汚れの除去を行わせること、

を特徴とする弾球遊技機。

【請求項5】

請求項1から請求項3のうちのいずれか1項に記載の弾球遊技機において、

前記除去制御手段は、前記判定手段により遊技中でないと判定された場合に、予め定められた開始条件が成立すると、前記除去手段に対し前記遊技球の汚れの除去を行わせること、

を特徴とする弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この封入式の弾球遊技機は、発射装置により発射された遊技球を回収する回収手段と、回収手段により回収された遊技球を、再度発射させるために発射装置に誘導する誘導手段と、誘導手段により誘導される遊技球の汚れを除去する除去手段と、遊技中か否かを判定する判定手段と、判定手段により遊技中と判定された場合には、除去手段に対し遊技球の汚れの除去を行わせず、判定手段により遊技中でないと判定された場合に、発射装置に対し遊技の発射を行わせると共に、除去手段に対し、誘導手段により誘導される遊技球の汚れの除去を行わせる除去制御手段と、を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

このような構成を有する場合であっても、遊技球の汚れの除去を行うか否かを、確実に切り替えることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

すなわち、請求項2に記載されているように、遊技球の汚れの除去を行うために発射された遊技球により、遊技が行われることを防ぐ防止手段を備え、回収手段は、発射装置により発射された後に遊技領域に到達し、遊技領域に設けられた入賞口或いはアウト口に入球した遊技球を回収すると共に、発射装置により発射された後に遊技領域に到達しなかつた遊技球をファール球として回収し、防止手段は、遊技球の汚れの除去を行う際、発射装置に対し、ファール球となるように遊技球を発射させても良い。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

こうすることにより、遊技球の汚れの除去が自動的に行われるため、封入式の弾球遊技機を管理する手間を減らすことができる。

なお、開始条件とは、予め定められた時刻が到来するという条件であっても良い。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

こうすることにより、遊技球の汚れが酷くなる前に、自動的に汚れの除去を行うことができる。

ところで、除去制御手段は、予め定められた時間にわたり、除去手段に対し遊技球の汚れの除去を行わせても良い。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

こうすることにより、適度に遊技球の汚れの除去を行うことができる。

また、輝度に基づき遊技球の汚れの度合いを測定する測定手段をさらに備え、除去制御手段は、測定手段により測定された遊技球の汚れの度合いが予め定められた度合いに達するまで、除去手段に対し遊技球の汚れの除去を行わせても良い。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

そこで、発射装置により発射された後、遊技領域に到達した遊技球をイン、遊技領域に到達した後に回収手段により回収された遊技球をアウトとし、イン及びアウトの数をカウントし、これらの数を外部に通知するカウント手段と、遊技球の汚れの除去が行われている際に、イン及びアウトの数の外部への通知を停止させる停止手段と、をさらに備えることを特徴とする。